

認定NPO法人あしぶえ

第 19 期
事業計画書

令和 5 年 4 月 1 日 から

令和 6 年 3 月 31 日 まで

松江市八雲町平原 481-1

特定非営利活動法人 あしぶえ

総会

項 目	第18回通常社員総会
日時・場所	日 時：2023（令和5）年5月14日（日）10時～ 場 所：しいの実シアター
審議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・2022（令和4）年度 事業報告、決算報告、会費報告 ・2023（令和5）年度 事業計画、収支予算報告 ・役員改選報告

理事会

年4回程度開催し、NPOの運営について協議を行う。

交流の集い

総会後に、交流を兼ねて、「これからの劇場」について話し合う。

他団体の事務局運営

八雲町地域振興活動団体交流会(やくもネット)事務局とポータルサイトの運営
島根演劇ネット事務局と島根次世代育成事業のとりまとめ

<令和5年度事業計画> **法人事業 ① 劇団公演事業**

令和5年5月現在のところ、上演依頼はありません。

<令和5年度事業計画>

法人事業 **②表現・コミュニケーション能力育成事業**

小・中・大学		実施月日	実施場所	受講者数	回数
八雲町	松江市立八雲小学校 (次世代育成事業)	R5/6~R6/1	八雲小学校	のべ400名程度	21回
松江市	島根県立大学4年制学部 教育保育学科 1年生	R5/4/20	県立大学松江 体育館アリーナ	34名	1回
	島根県立大学短期大学部 保育学科 1年生	R5/4/19	県立大学松江 体育館アリーナ	41名	1回
	松江市立義務教育学校八束学園 (次世代育成事業)	R5/6/5、11/14	松江市立義務教育 学校八束学園	のべ130名程度	5回
東部	飯南町立頓原中学校 (次世代育成事業)	R5/未定	飯南町頓原中学校	のべ40名程度	4回
西部	益田市立東中学校	R5/未定	益田市立東中学校	のべ180名程度	6回

企業、地域、PTA、その他		実施月日	実施場所	受講者数	回数
東部	松江ニューアーバンホテル職員研修	R5/4/4、4/5	松江ニューアーバンホテル	21名	2回
	松江ニューアーバンホテル	R5/未定	未定	未定	未定
	保育士スキルアップ研修(東部)	R5/8/22	出雲市朱雀会館	40名程度	1回
	どんぐり館ファミリーサークル	R5/5/13	どんぐり館	12名程度	1回
	どんぐり館 星キラママワークショップ	R5/未定	どんぐり館	6名程度	1回
西部	保育士スキルアップ研修(西部)	R5/9/6	浜田「いわみーる」	20名程度	1回

<令和5年度事業計画> 法人事業 ③ 誘客事業

事業名	森の劇場でお花見を！
入場目標	500人
趣旨 目的	桜を通して周辺環境の魅力を市民に周知し、演劇に興味・関心が薄い人にも足を運んでもらい、しいの実シアターの認知度アップを目指す。
事業概要	【日時】 令和5年4月1日（土）～2日（日） 【対象】 家族連れ、高齢者等の市民と近隣市町の住民

事業名	〈しいの実シアターエコ活動〉 落ち葉を集めよう！ — 腐葉土にする落ち葉集め みんなで焼いも —
参加目標	30人～40人
趣旨 目的	他の家族と協力することでマナーや言葉かけを覚える。きれいになった劇場周りの美しさと働く充実感、役に立つ喜びを味わい、森の劇場への愛着を感じてもらう。
事業概要	【日時】 令和5年11月19日（日） 【内容】 落ち葉を松浦造園さんに「腐葉土」にしてもらい、シアターの肥料に。

<令和5年度事業計画>

法人事業 ④ 物販事業

しいの実シアター

貸館時や各種誘客事業と連携して、グッズや地域産品等の販売を行なう。
公式LINEアカウントにより入荷情報を発信して、物品販売を行う。

かやぶき交流館

交流館の来場者を対象に、地元産品等の販売を行なう。

＜令和5年度事業計画＞ しいの実シアター指定管理事業

公演事業1

事業名	200回記念公演 「ゼロ弾きのゴーシュ」(60分) 劇団あしぶえ
入場目標	100席×80%×6ステージ=480人
趣旨目的	照明家・岩城保氏を招き今までの舞台を超える照明でレベルアップを目指す。
事業概要	【日程】令和5年5月28日(日)、6月18日(日)7月2日(日)各2回公演 7月3日(月)午前は、来待小、午後は八雲中の団体観劇。 5月28日は松江市教職員20名を招待。7月3日は松江市職員研修。

公演事業2

事業名	人形劇「ヤナと雪男」公演 (50分) ピクルド・イメージ(イギリス)
入場目標	100席×80%×8ステージ=640人
趣旨目的	日本初公演。新国立劇場の宮田慶子氏からしいの実シアターで上演するにふさわしい作品であると推薦された。移民の少女と雪男の交流ものがたり。
事業概要	【日程】令和5年10月11日(水)12日(木)13日(金)15日(日) 【回数】1日2ステージ×4日=8ステージ 11日、12日、13日は、松江市教育委員会と連携して、市内小学生の団体観劇を6ステージ15日は、一般公演2ステージ 【対象】5歳以上 【言語】無言語

公演事業3

事業名	人形劇団クラルテ公演 「森のちいくまちゃん」(20分) 「わくわくドッキン!こぶたのりんご」(25分)
入場目標	100席×80%×2ステージ=160人
趣旨目的	幼少期に生の舞台でわくわくする体験を提供する。
事業概要	【日程】令和5年6月1日(木)2日(金) 【対象】0歳以上

普及啓発事業

事業名	しいの実シアター未来学校
募集人数	20人×2回=40人
趣旨目的	初めて会った子ども達同士で折り合いを付けながら、作品選びから衣装づくりまで行うことで自主性と主体性を養う。
事業概要	【日程】1回目 令和5年8月4日(金)5日(土)6日(日)の3日間 2回目 令和5年8月25日(金)26日(土)27日(日)の3日間 【対象】小学生、中学生 【募集】2回とも、それぞれ20人程度 【講師】田中小百合 有田美由樹

施設管理

1. プロ人材の活用による SNS 広報を推進する

(公財)しまね産業振興財団が推進している「プロフェッショナル人材戦略拠点事業」により「副業・兼業」を行う都市部のプロ人材を紹介してもらい、SNS 等の有効活用についてのアドバイスを受け、これからのデジタル化に対応する。

2. 貸館利用促進のための広報活動に力を入れる

スタッフが市内公民館、学校、各種団体等を訪問して担当者等に貸館利用を勧めていく。

<令和5年度事業計画> かやぶき交流館指定管理事業

<貸館事業>

- ・かやぶき交流館の広報チラシを 1000 部作り、松江市内の公民館等に利用案内を行う。
- ・しいの実シアター上演の「ゼロ弾きのゴーシュ」チラシに、かやぶき交流館の利用案内も掲載し、広報に努める。

<自主事業>

- ・「森の劇場でお花見を！」に合わせて、ひな人形（段飾り）を展示する。
- ・町内事業との連携して、こいのぼりを掲揚する

<施設管理>

- ・毎週数回はいろりに火を入れ、かやぶきの虫駆除を行う。
- ・建物周辺の草刈、樹木の剪定作業を行う。
- ・木の根が排水の溜枳に入り込み、詰まった状態にならないよう、枝の切断などを行う。
- ・裏山周辺のまむし対策

<安全管理>

- ・敷地内禁煙にしているが、分かりやすい表示を行う。
- ・駐車スペースに白線がないため、大きなイベント時には白線を引く。

＜令和5年度事業計画＞ 松江・森の演劇祭の委託事業

事業名	令和7年度開催の「第8回松江・森の演劇祭」の前々年度計画
事業の趣旨 および目的	<p>【目的】 子どもたちから高齢者まで様々な人たちが、世界の多様で創造的な表現に触れて、演劇の楽しさ・深さと感動を味わうことによって、明日への豊かな暮らしに繋がっていくことを目指します。そして、演劇祭を企画・運営するスタッフとクルーが、Bit by Bit の精神で演劇祭を長く続けることによって、ひとの力・まちの力が増して、松江のまちが＜国際的で柔軟な感性が広がるまち・市民が誇れるまち＞になることを目指します。</p>
今年度の 活動内容	<p>令和4年度開催の「第7回松江・森の演劇祭」は、初めて「松江・森の演劇ゾーン」だけで実施し、来場者・出店者・ボランティア・運営本部共にこのゾーンに集中して開催することを最良とする結果をみた。</p> <p>令和7年度開催の第8回も、この演劇ゾーンで実施し、そのための基本プランづくり等についての1年間の活動内容は次のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 出演劇団選定のため、国内で開催される国際演劇祭を訪問し出演交渉を行う。 ② ボランティア・クルーのレベルアップのための研修会開催。 ③ ボランティア・クルーへのアンケート実施と各種会合開催 ④ 運営本部準備スケジュール、運営マニュアル冊子の見直し ⑤ 参加劇団宛てに作成する上演に関する種々の質問表の作り直し ⑥ 上演フォームの作り直し ⑦ 興行ビザ申請に係る業務の整理 ⑧ 前回10万円以上寄付者への返礼ワークの実施 ⑨ 雨天時の上演会場整備方法、マルシェ会場づくり等の見直し ⑩ 以上の各項目を見直し・実施によって第8回の基本プランを作成する
今後の活動 計画や事業 の継続性	<p>継続開催の演劇祭として確実に成長していくための方策を見つけていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 劇場周辺における駐車場の確保。 ② 演劇の知識を持ち、国内外劇団との交渉能力をもつ人材の確保。 ③ 3年に1度（トリエンナーレ）開催を、2年に1度（ビエンナーレ）開催に進化させるための方策を思料する。